

4) 全体討議 ゲストを交えての意見交換

ファシリテーターから、NPOとボランティアの違いについて、説明。
各団体の方より、質問に対する意見をいただきました。

(田中氏)

- ・ スタートの意義だが、活動することで、いろいろな人とのかかわりがあり、楽しい。たのしいことが原動力。NPOとして、地域の人に何を求めるかですが、横の連携、地域の情報をつなげる役が行政であれ、中間支援のNPOであれ、必要だと思います。個人の方に求めるとすれば、居てくれるだけでいいと思います。

(佐々木氏)

- ・ 始めた動機ですが、何もないから始めました。一宮市の場合、障害児はいわゆる教育機関を出た時に、市外の入所施設に入る方が多い。就職するところが少ないからです。自分たちがやらなければとおもっていたところに、国のしくみが変わり、NPO法人ができるようになったので、事業をスタートしました。
- ・ 個人に対して、求めることは、障害者(児)の問題を共有化してほしいことです。
- ・ 行政との関わりは、行政ができない部分を私たちがやっているの、利害関係、補助金の授受の関係に終わってしまっているの、そこが問題だと思います。

(浅野氏)

- ・ 私がこういった活動をはじめたきっかけは、私の友人の奥様が難病にかかり、メンタルケアに保健所に行く必要があり、送迎を始めたことがきっかけです。2~3年経つうちに、市民活動を活発化させようという想いが募って、今、中間支援組織でやっているという状況です。
- ・ 情報という面でいくと、市民活動情報サイトが立ち上がって、270団体が登録しています。イベントを探したり、ボランティア募集もできます。どこの団体があるかという検索もできます。
- ・ また、一宮市では、2か月に一度、NPO通信を発行しており、市内で活躍する団体を紹介しています。

(諫山氏)

- ・ 4グループからの質問にお答えします。個人の方をお願いしたいのは、市民事業についても、担い手がないので、担い手になっていただきたいことです。
- ・ 情報公開についてですが、まごころは、独自のホームページと市民情報サイトの登録もしています。しかし、この市民情報サイトからボランティア募集をしても、今まで一度も応募はありません。そういう使い方ができるようには至っていないと思います。
- ・ 市民をいかに巻き込むかですが、顔の見える狭い地域の方に来ていただくことに意義があるので、ポスティングしたりしています。地域のふれあいまつりに来てもらったり、地域の活動を通してPRしています。
- ・ 若い人の参加で工夫しているかということですが、給料の面で、ベースアップ等ないことから、離れていってしまうケースが非常に多いのが実態です。学生の方の研修の受け入れ等はしていますが、将来的な問題はあります。
- ・ 横の連携等ですが、同様のサービスを行っているところが、一宮市内にないことから、参考にならない。制度面では、ある程度、横の連携はあると思っています。

- ・ 児童デイサービスの状況としては、私どもは、事業所が少ないと思っておりますが、一宮市は十分だと思っている市の職員の方もみえて、その点では、しっかり現状を把握してほしいと願っています。
- ・ NPOは、社会貢献活動を行っていますが、民間企業と同様、税金を払っています。NPOは寄付を受けられますが、なかなか少ない状況で、資金面では、大変苦勞しています。

(浅野氏)

- ・ 横の連携ですが、市民活動支援センターでの横のつながりも出来ていない状況です。ただ、来年度から、市民活動団体の横のつながりを深めようと「ゆるやかネットワーク」を呼びかけようと予定しております。